

地域みなさんと医療を結ぶ。阿蘇立野病院のコミュニケーションマガジン

秋号

Autumn No.

たての日和

No. 20

医療法人社団 順幸会
阿蘇立野病院 発行

TATENO BIYORI

以菊
花
の
落
日
の
懐
か
し
み



Column 20

「寄り添う」

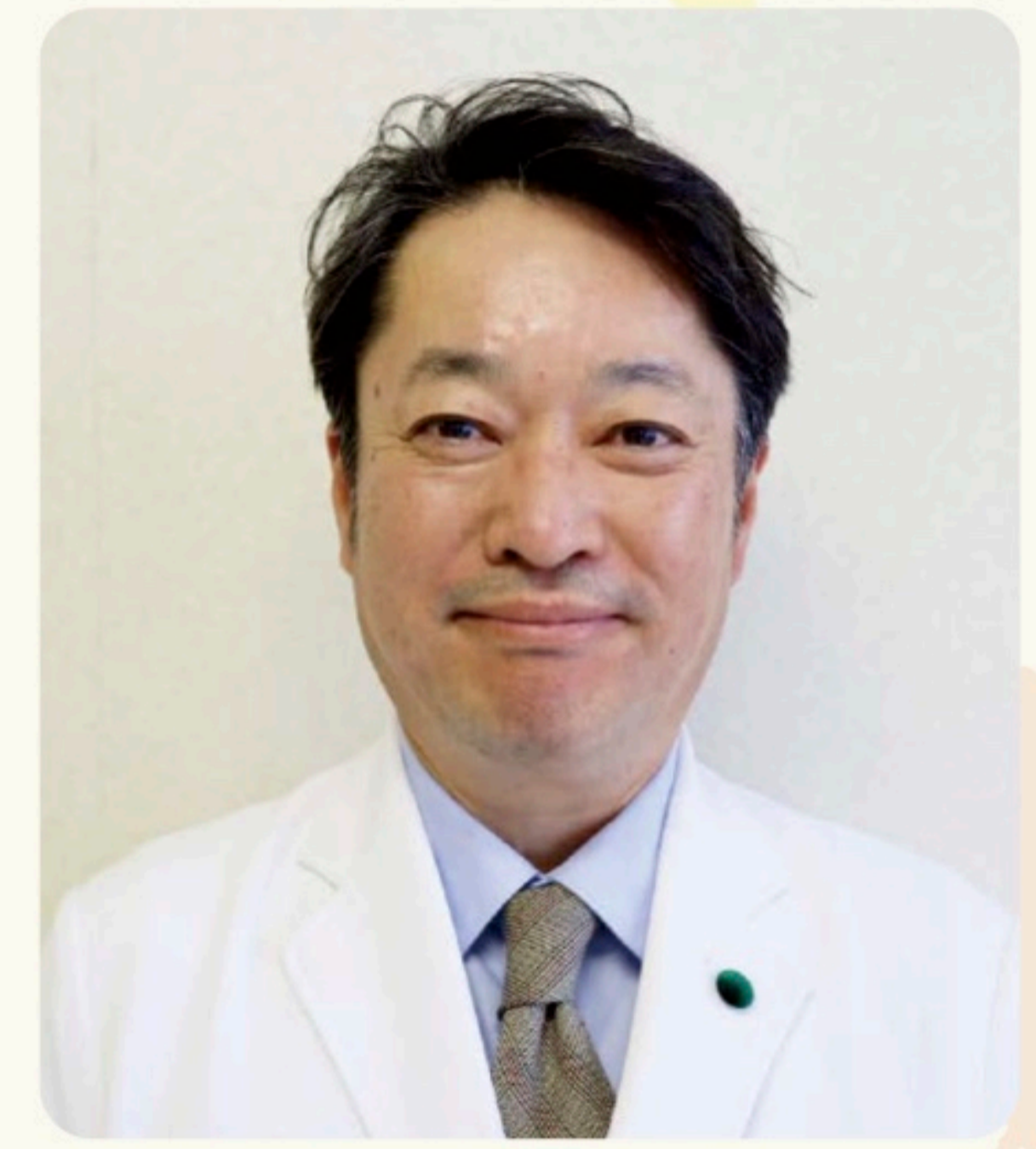
悲しみの感情から
寄り添うことを考える

「寄り添う」

悲しみをいつも胸に湛える

バブル期の1980年代、それはとにかく明るく(陽)なければネクラ(陰)といわれ、下手すれば軽蔑されていた時代でありました。そのような時代に青春の大半を過ごした私は、このような考えを正しいと思いついていました。おそらく当時の時流はそう動いていたのでありましょう。時が流れ、仕事に就いたり家庭を持つたりしていく中で、とにかく明るくしなければならぬと張り切るものの、周囲との衝突も時折生じ、逆境の時期も経験しました。とくに熊本地震は人間の力ではどうしようも無い事象であり、大いに悩んだことは私だけでなく皆様にとっても記憶に新しいと思われまます。しかし、辛苦艱難をそれなりに経験すると東洋哲学の陰陽や中庸などの思想がスーッと自分の肚に落ちるようになりました。

私がかつて学んだ高等学校の修学旅行で訪れた京都知恩院に、地震後久しぶりにお参りに行った時、仏教詩人として有名な坂村真民氏の「念ずれば花ひろく」の石碑が参道に設置してありました。私にとってこの詩はこれまでの人生でも、大変思い出深い有り難いものであります。ちなみに真民さんの母君は阿蘇の出身であり、山都町の弊立神宮にも可愛らしい石仏様にこの一文が刻まれています。不思議なご縁を感じたのは言うまでもありません。



順幸会理事長 上村 晋一

その真民さんの「かなしみはいつも」を紹介します。

かなしみはみんな書いてはならない
かなしみはみんな話してはならない
かなしみはわたしたちを強くする根
かなしみはわたしたちを支えている幹
かなしみはわたしたちを美しくする花
かなしみはいつも枯らしてはならない
かなしみはいつも湛(た)えていなくてはならない
かなしみはいつも嘔みしめていなくてはならない

「悲しみとは感情の至極である」と安岡正篤先生は述べています。悲しみという陰の感情は決して軽蔑されるものではなく、むしろ歓迎すべき感情ではないでしょうか。

私たち医療人もよく口に「寄り添う」ことができるということは畢竟、真民さんの詩のよみに、悲しみをいつも胸に湛えている人だからこそ可能になるのではないのでしょうか。そして逆境こそが己の深思を生み出し、寄り添うために必要な気付きを得ることができる貴重なチャンスであると確信します。

運動部

阿蘇立野病院運動部では、『楽しく笑顔で』をモットーに運動不足解消と部署や世代を超えた職員同士のコミュニケーションの場となるように活動をしています。活動内容は、ソフトボールやミニバレーボールを中心に行い、大会への参加に向けて練習を行っています。また、職員から出場したい種目や大会参加への希望の呼びかけを行っています。いろいろな大会に参加をしていますが『勝ち負けにこだわらず、楽しく怪我無く』を第一に活動できればと思っています。練習は無理のない範囲で、気軽に参加していただけるような活動を心がけています。



TATENO INFORMATION

あそ
総合医療
研究所
General medical

ハーブの花束作り 開催しました!

【あそ総合医療研究所】

今年も「ハーブの花束作り」教室を開催しました。ラベンダーや色々な種類のバジル、ゼラニウムを沢山使った花束でした。特に富良野から直送のラベンダーは自由診療フロア全体を包み込む良い香りがして、レッスン後のお茶とともに参加された皆さんとてもリラックスして過ごされました。



ラジオ
radio
broadcasting



ラジオ番組で 毎月放送!

【ラジオ放送】

当院では毎月第1・2月曜日放送のRKKラジオ番組「続・貫一お宮のマイスイートロード」にゲスト出演しています。病院のイベントやどんな人が働いているのか、どのような仕事を行っているのかなどを発信しています。ホームページやインスタグラムでもお知らせしていますのでぜひ聞いてください。

救急病院の 認定について

【救急指定病院】

当院は令和5年8月11日付で熊本県より救急病院（救急告示医療機関）の指定を受けましたので、お知らせ致します。今後も阿蘇地域における救急医療の一端を担い、ぬくもりと安心の医療が提供できるよう努めて参ります。

救急病院
emergency
hospital



TATENO INFORMATION

広報
委員会
public relations

おすすめの言葉をご紹介しています

【広報委員会】

毎朝元気になる言葉を発信しています。今回はその中からおすすめの言葉をご紹介します。講演家の古市佳央さんより「幸せを感じる力を高めるには、日常というものがいかにありがたいかを想像する癖をつけることです。ぜひ皆さんも心に響く前向きな言葉を見つけてみてください。



月刊『致知』2023年6月号(致知出版社刊)より転載

阿蘇立野病院の理念



「ぬくもりと安心の医療」

ぬくもりと安心の職場であり、ぬくもりと安心の医療を提供できる病院であることを目指します。



基本方針

- ・私達は、親しみと温かい身内の心で患者さんをお迎えします。
- ・私達は、患者さん中心の誰からも信頼される病院をめざします。
- ・私達は、自己研鑽に務め、チーム医療を充実し、質の高い医療を提供します。
- ・私達は、医療・福祉を通じて、地域の文化・環境を大切にします。
- ・私達は、生活を共に考え、病気の治療ばかりでなく、予防にも努めます。

患者さんの権利

- ・人間として尊重される権利
- ・知る権利と自己決定の権利
- ・プライバシーを尊重される権利
- ・病気やその治療方法及び保険や予防について学習する権利
- ・医療従事者とともに医療改善の活動に参加する権利

私たちは、患者さんの権利を尊重する医療の実現に努めます。

病院機能

- 一般外来 ● 救急外来
- 人工透析 17床
- 入院52床(地域包括52床)
- 院内リハビリ(P.T・O.T・S.T) ● 通所リハビリ
- 訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ
- 健診センター ● 自由診療

入院受入れ可能項目

- レスプレーター管理(要相談) ● 気管切開
- 経管栄養(鼻腔栄養・胃ろう栄養)
- がん疼痛麻薬使用 ● 終末期看取り
- リハビリ P.T・O.T・S.T ● レスパイト入院(要相談)
- 認知症(要相談) ● 透析 ● 転院継続療養
- 当日入院・土日転院受入れ相談・Key不在の方受入れ



阿蘇立野病院

ASO TATENOH Hospital

阿蘇南部地域在宅医療サポートセンター

〒869-1401 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字立野 185-1

☎ 0967-68-0111

阿蘇立野病院

検索



WEB



Insta